



全国ユース 環境ネットワーク

第7回
全国ユース環境活動発表大会
開催決定！
詳しくは本誌をご覧ください。



北海道標茶高等学校 環境ゼミガイド班



青森県立むつ工業高等学校
地中熱利用による融雪研究班



オイスカ高等学校
浜と松プロジェクトチーム

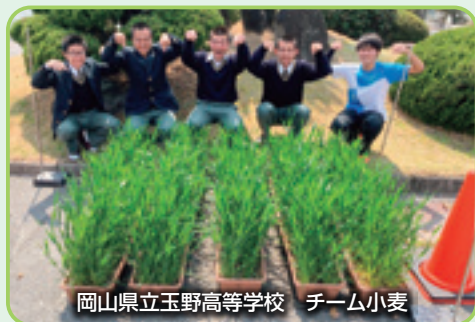


岐阜県立多治見高等学校
地域探究部自然再生班

2020年度
第6回全国ユース
環境活動発表大会
参加高校 投稿写真



京都府立北桑田高等学校
コンピュータ木工チーム



岡山県立玉野高等学校 チーム小麦



高知県立伊野商業高等学校 土佐和紙研究会



熊本県立南陵高等学校 Team.水土林★



投稿写真は、ユース情報誌「事例集 2020」より全国ユース環境ネットワーク事務局が選びました



ご挨拶

平素は、環境行政、地球環境基金、及び全国ユース環境ネットワーク促進事業にご協力賜り、御礼申し上げます。

現在、地球上では二酸化炭素等による温暖化や熱帯林の減少、生物多様性の損失など様々な環境問題が深刻化しており、大雨や猛暑等、身近な気候の変化からそれらを感じる事が多くなってきました。

こうした状況の中、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、昨年11月にイギリスで開催を予定していた地球温暖化対策について話し合う国連の国際会議（COP26）が今年11月に延期されるなど、環境問題に対する国際的な取組みにも大きな影響が及びました。

一方で、我が国では昨年10月の臨時国会において菅総理大臣から「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」という宣言がなされ、続いて今年4月に「2030年度の温室効果ガスの削減目標を、2013年度比で46%削減する」という目標が発表されたことを皮切りに、国内の脱炭素社会の実現に向けた機運が一層高まり、官民の枠組みを超えてさまざまな取組みが始まっています。このような困難な時期であるからこそ、多様な主体が力を合わせて、人類共通の課題である環境問題に向き合うことが必要です。

独立行政法人環境再生保全機構では、環境省とともに「全国ユース環境ネットワーク促進事業」を2015年度から実施しており、その一環として、「全国ユース環境活動発表大会」を開催しています。昨年度に続き、今年度も参加校が一堂に会して発表、交流する機会を設けることはできませんが、高校生の皆さんが取り組む活動の発表動画を広く公開することで、同世代が行う環境活動を知るとともに、全国のユース世代がつながり、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成へ向けて、パートナーシップを築いていくことを期待するものです。

皆様方におかれましては、本事業の趣旨をご理解いただき、積極的な参加をいただきますよう、お願い申し上げます。



独立行政法人環境再生保全機構
理事長 小辻 智之

〈全国高校生環境活動アンケート〉ご協力ありがとうございました。

2021年6月、全国の高校が新型コロナウイルスへの対策を進めている中、今年も環境活動を実践している全国の高校の先生方を対象に、活動の実施状況や当発表大会への参加ご意向などに関するアンケートを実施いたしました。結果、多くの先生方から高校の実際の状況についてご回答をいただきました。

いただいた貴重なご意見をもとに、環境省、国連大学、環境再生保全機構で組織する実行委員会で協議し、「第7回全国ユース環境活動発表大会」の開催についての準備を進めさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

（対象：第4回～第6回 ユース大会への全国応募高校を中心に依頼 対象：255校 ⇒ ご回答：121校）

集計結果

(Q1) 今年度の環境活動実施状況と今後の見通し

全 121 高校

- | | |
|---|-------|
| ☐ 活動を実施している | 82 高校 |
| ☐ 活動停止中だが、近いうちに再開予定 | 12 |
| ☐ 現時点で活動再開の予定・見込みがたっていない | 13 |
| ☐ 今年度は実施しない予定 | 1 |
| ☐ その他（以下にご自由にお書きください） | 13 |

活動（予定含）
77.7 %

活動無し
11.6 %

(Q2) 今年度の全国ユース環境活動発表大会への応募見込み

- | | |
|--|-------|
| ☐ 会場開催、Web 開催いずれも参加可能 | 52 高校 |
| ☐ 会場開催であれば参加可能 | 6 |
| ☐ Web 開催であれば参加可能 | 20 |
| ☐ 応募したいと考えているが今年度は難しい | 27 |
| ☐ 応募する予定はない | 16 |

どちらも参加可
43.0 %

会場参加可
5.0 %

Web参加可
16.5 %

ご意見

多数いただきました。以下、その一部をご紹介します。

いつも貴重な機会をつくってくださり、ありがとうございます。今年度も、新型コロナウイルスの影響が懸念されますが、会場大会・Web 大会のどちらでも参加できるよう準備を行っていきます。

大会は、いつもの学校生活とは違う非日常の中で他校の先進事例実践を聞いたり、同じ高校生同士で交流し、お互いを高めあう貴重な機会だと思います。新型コロナウイルス感染拡大の中でなかなか大変だとは思いますが、教育効果を考え、ぜひ会場実施をお願いいたします。

昨年度はオンデマンド、YouTubeでの視聴ができました。非常に充実した学びができました。大会に参加した生徒の満足度が高かったです。



第7回 全国ユース環境活動発表大会

Web大会 で開催します!

新型コロナウイルスの感染拡大の防止、そして高校生や先生方、すべての関係者の方々の健康と安全を最優先で配慮し、第7回発表大会は『Web大会』で開催いたします。

高校生のみなさんが取り組む環境活動やSDGs活動の『発表動画』を制作してください!
はじめての高校も参加経験のある高校も、日頃の活動内容を動画で全国に情報発信してください!

『Web大会』は、ここがおすすめ!

- 動画の制作で、日常の活動の整理&確認ができる
- 校外活動の制約がある高校も、動画で投稿・参加できる
- 自校の活動を、動画で全国に情報発信できる
- オンデマンドなので、好きな時間、好きな場所で何度でも繰り返し他校の発表動画を見ることができる



(イメージサンプル:発表動画の1コマ)

「全国ユース環境活動発表大会」とは…

全国8地方の地方大会、全国大会を開催!

詳細 → 本誌P3~4をご覧ください。

Web 地方大会

2021年11/29 (月) ~12/14 (火)

Web 全国大会

2022年1/21 (金) ~1/31 (月)



高校生が
取り組む活動を
動画で発表

気候変動

生物多様性
の保全

資源循環

地域環境

SDGs活動

食品ロス

プラスチック
問題

環境教育

など…

〈全国ユース環境活動発表大会の特長〉

発表

- ◇ 日頃取り組んでいる環境活動やSDGs活動を、「発表動画」(10分間以内)で発表します。動画は、(会場の)ステージで発表するイメージで制作してください。
- ◇ Webサイトでの動画の発表、閲覧、審査、講評、表彰をもって「Web大会」とします。
- ◇ 発表動画は、後日YouTubeにアップして全国に向けて発信します。

応募の方法、大会の詳細 → 本誌P3~4をご覧ください。

情報 収集

- ◇ 『Web大会』は、「オンデマンド」です。(オンライン、ライブ形態ではありません。)ほかの高校の発表動画をじっくりと閲覧できますので、普段では気づかないこと、地域との連携事例、自分たちなりに工夫すればできることなど、いろいろな発見があります。

交流

- ◇ 他校の発表閲覧後、出場校の高校生が「高校生が選ぶ特別賞」の投票をします。その際、ほかの高校への「応援メッセージ」を添えてください。環境課題解決という、同じテーマで活動する他校の仲間とメッセージを交換し、エールを送り合うことで、互いにつながり、活動の気づきが広がります。





大会概要

高校生が日頃から実践している環境活動、SDGs活動を発表する大会です。
大会出場高校の発表動画を、全国に情報発信します。

- 〈主催〉 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省／独立行政法人環境再生保全機構／国連大学サステナビリティ高等研究所)
- 〈後援〉 読売新聞社
- 〈協力〉 地方環境パートナーシップオフィス(EPO)、地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)、ESD活動支援センター
- 〈協賛〉 キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SGホールディングス株式会社、株式会社タニタ

地方大会

全国の8地方で「地方大会」をWeb大会で開催します。
Web大会では、校外活動の制約がある高校も動画で応募できます。



Web大会

出場高校 各地方大会 12高校～13高校 出場 (応募多数の場合、一次選考があります。)

開催日程 2021年11月29日(月)～12月14日(火) (各地方大会共通)
※ 上記の期間に「発表動画」での発表と閲覧、投票を行っていただきます。

開催地方

8地方で開催

北海道大会

東北大会

関東大会

中部大会

近畿大会

中国大会

四国大会

九州・沖縄大会

北海道：北海道
東北：青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東：茨城、栃木、群馬、千葉、埼玉、東京、神奈川、新潟、山梨、静岡
中部：富山、石川、福井、長野、岐阜、愛知、三重
近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国：鳥取、岡山、島根、広島、山口
四国：香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄：福岡、大分、宮崎、佐賀、熊本、長崎、鹿児島、沖縄



※地方大会は、環境省地方環境事務所の所管する都道府県別に区分いたします。

実施内容

- 〈発表・閲覧〉 発表動画を大会ホームページに掲載。開催日程内にオンデマンドで閲覧いただきます。
- 〈審査〉 高校生による投票、先生による投票、審査委員による審査を行います。
- 〈講評〉 地方大会の審査後、Web上で審査委員による講評を行います。
- 〈表彰〉 各地方大会ごとに、以下のいずれかの賞を**全ての出場校に贈賞**いたします。

① 地方大会最優秀賞

② 高校生が選ぶ特別賞

③ 審査委員特別賞

④ 先生が選ぶ特別賞

⑤ 協賛企業特別賞

⑥ 優秀賞

※各地方大会で選出される代表2校(①②受賞校)が全国大会に出場します。

全国大会

全国から16高校が出場！全国の多様な活動事例を発表！
(各地方大会 2校選出 × 8地方大会 合計16高校)

開催日程

2022年1月21日(金)～1月31日(月) (発表、閲覧、投票の期間)

表彰(予定)

環境大臣賞など、以下の賞を贈賞いたします(全ての出場校に贈賞します)。

環境大臣賞

環境再生保全機構理事長賞

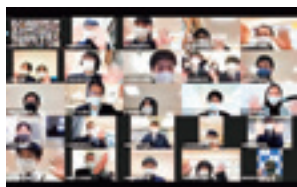
国連大学サステナビリティ高等研究所所長賞

読売新聞社賞

高校生が選ぶ特別賞

先生が選ぶ特別賞

優秀賞



〈全国ユース環境フォーラム〉 (予定)

全国大会のイベントとして、環境課題やSDGsのミニセミナー、ほかの高校との情報交流や意見交換を目的に全国ユース環境フォーラムをオンラインで実施します。日頃の活動や地域の課題をテーマに、また応援メッセージの交換などほかの高校と大いに語り合ってください。そして、今後の活動の参考や励みにしてください。



〈資料請求、応募から地方大会、全国大会までの流れ〉



地方大会と全国大会を「Web大会」で開催します。出場校の発表動画は、大会終了後に YouTube 上で一般公開する大会総集編動画の中でご紹介します。ぜひ応募してください！



応募要領

大会に出場するための最初の2ステップ！

Step1

資料請求

① 詳しい資料をお送りします。資料は、4点セットです。

1) 応募のご案内 2) 応募用紙 3) 活動記入用紙 4) 発表動画制作のポイント

② 資料請求方法は、2通りご用意。いずれかの方法で請求してください。

1) メールか FAX 本誌送付状裏面の「大会資料請求用紙」にご記入の上、お送りください。

資料請求先 Email: youth@erca.go.jp FAX: 044-520-2192

2) ホームページ 大会ホームページに資料請求フォームを用意いたしました。
以下の URL にアクセスいただき、各項目にご記入の上、ご送信ください。

大会ホームページ <https://youth-eapc.net/> ※大会 HP からは 10 月上旬以降、請求できる予定です

Step2

応募

資料が届いたら、必要事項を応募資料にご記入の上、発表動画とともに事務局あてに応募してください。詳しくは、資料請求でお送りする「応募のご案内」をご覧ください。

募集内容

地球温暖化対策、脱炭素、生物多様性の保全、自然共生、資源循環など「環境」に関わる活動、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の目標達成に資する活動

応募資格

環境活動、SDGs 活動を実践する高校生等の団体

全国の高等学校、高等専門学校（高等学年）、中等教育学校（4～6年生）の部活動、委員会、有志団体等。
環境活動の実践者が高校生であれば応募可能。高校や所属団体を通じて応募してください。
（高校以外の環境活動団体や地域団体も可能）

審査基準

以下の観点から総合的に評価いたします。

自主性

着眼点

協働

改善度

発信力

SDGs観点

応募締切

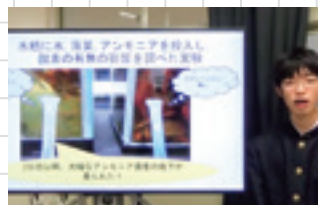
2021年 11月15日(月) 18:00 必着

応募締切後、書類選考で地方大会出場団体の選考を実施し、後日事務局より結果をお送りいたします。
地方大会には各地方 12～13 団体、全国大会には各地方 2 団体、合計 16 団体が出場します。

【参考】イメージサンプル：発表動画の1コマ（昨年度の発表動画より）



ポスター発表タイプ



モニター投影タイプ



活動現場で発表



ロケ&テロップ

大学生の環境活動



大学生SDGs座談会 2021年7月、全国の6団体の大学生がオンラインで意見交換を行いました。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、講義やゼミがオンライン主体となるなど大学生の学生生活にも大きな影響があります。一方で、この期間に大学生の間では新しい価値観が生まれ、持続可能な社会の実現に向けた活動や取組を検討・実施しています。今回の座談会では、新型コロナウイルス感染症への対応によって生まれた、「新たな日常・新たな価値観、持続可能な社会づくり」をテーマに活発な意見交換が行われました。

主催) 独立行政法人環境再生保全機構

共催) 全国大学生環境活動コンテスト実行委員会



〈座談会レポート〉2つのグループに分かれ意見交換を行い、各議題での意見共有をしました。

(1) 新たな日常・新たな価値観

グループ A)

学生もオンラインイベントに慣れてきた。オンラインによって全国の人と関われるようになったことはとても良いことである。一方で、オンラインでの会話に飽きてきたという話があった。対面での活動に向けた、活動環境を今から作っておくことも大切だという話もあった。

グループ B)

オンラインでどのように活動を展開できるか議論を行った。コロナが落ち着いた先を見越して、団体としての活動を考える期間にもなっているとの意見もあった。現状としては、どの団体もコロナ禍で、またコロナ禍後にどのように活動していくのか模索している状況であると意見交換をして分かった。

(2) 持続可能な社会づくり

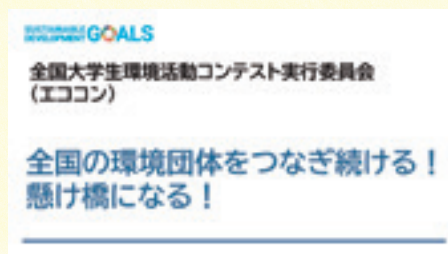
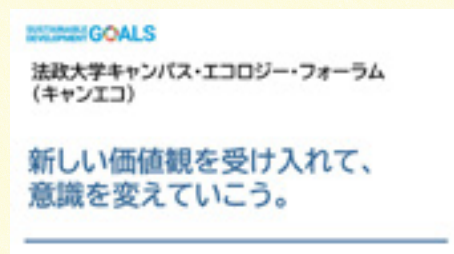
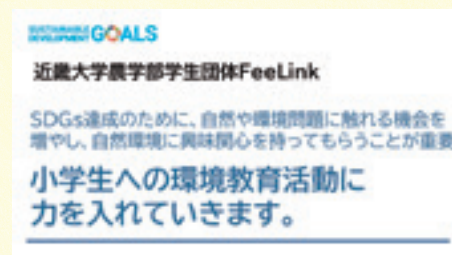
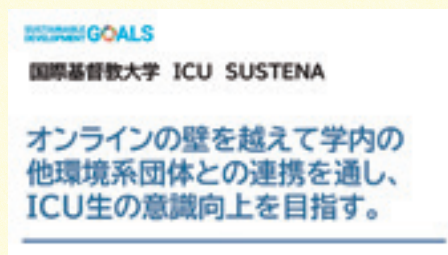
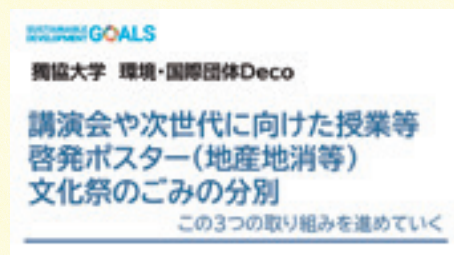
グループ A)

買い物の際にレジ袋を利用しているかどうかの話になった。レジ袋は使わずに、直接リュックやバックに入れるという人が多かった。座談会に参加した学生の多くは、団体だけでなく、個人レベルでも意識をもって普段から生活していた。環境活動に関心がない方にどう意識をもってもらうかが課題である。

グループ B)

持続可能な社会づくりで何ができるか、個人の意識の話、団体・社会全体での活動の話をしたが、どちらも大事だと思う。個人レベルで意識するためには広報が重要で、環境団体の堅苦しいイメージをアプリ等を活用しポップに発信していくのはいかがでしょうかと意見があった。

〈大学生SDGsメッセージ〉意見交換をふまえてSDGsに対する意気込みを団体ごとに議論・作成し共有しました。



〈大学生SDGs座談会 参加大学生の日頃の活動紹介〉

(上:大学名、団体名、参加者氏名 下:活動紹介)

獨協大学 環境・国際団体 Deco 坂野太郎さん、滝田大翔さん	東京農工大学 ごみダイエツトNOKO 田口優さん	新潟県立大学 新潟環境ネットワーク N-Econet 稲月琴子さん、石川万慈さん
「サルベージ」活動を中心に地域活動を行っている。「サルベージ」とは川に落ちている自転車やバイクを引き上げる作業のことで、2017年には1000台の引き上げを突破した。他にも学内でPETキャップ回収や傘のリユースなど様々な活動に取り組んでいる。	東京農工大学の農ゼミに所属するサークルで、自治体イベントでのエコレンジャーショー披露や、農学部学園祭での非木材紙トレイ普及とその堆肥化など様々な活動を通じて、環境状況の改善や環境への関心を高めてもらうことを目的に活動している。	新潟県内で環境活動やボランティア活動する学生のネットワークを形成している。ネットワークを活性化させることでモチベーションの向上や活動の発展を目指す。
国際基督教大学 ICU SUSTENA 井原菜緒さん、二村紗未さん	近畿大学 農学部 学生団体 Feelink 奥太志さん、加藤雅基さん	法政大学 キャンパス・エコロジー・フォーラム 大谷霞さん、松林倭太さん、石川七美さん
一般教養科目の「環境研究」で出た学生のアイデアから生まれた団体。学内の環境意識を高め、自然環境について考えるきっかけを与えるために学生主体で活動している。メンバーは環境配慮のための活動を自分自身で計画して実行している。	次世代環境を切り開く人材を育成することを目的に発足。人と環境の架け橋になることをキーワードに、環境教育や緑化活動による環境啓発を行っている。学内の里山をフィールドとし、耕作放棄地を活用した畑の管理、ビオトープの保全活動に取り組んでいる。	1999年に発足した法政大学公認の環境系サークル。棚田班、里山班、学祭班、企画班、ごみ班、エコライフ班などといった班に分かれて活動を行っている。メンバーには、学生のほかに社会人学生や教職員も参加し、多様な活動につなげている。



全国ユース環境ネットワーク『全国大学生環境活動団体調査』のご案内

～ 全国では、どの大学（団体）がどんな環境活動に取り組んでいるのだろうか？ ～

全国ユース環境ネットワーク事務局では、全国大学生環境活動コンテスト（エココン）実行委員会の協力を得て、新型コロナウイルスの影響が広がる中、大学生の環境活動団体の状況を把握するために「全国大学生環境活動団体調査」を実施しています。調査にご協力、ご回答をいただける大学生（団体）のみなさま、どうぞお気軽に下記事務局までご連絡ください。回答フォームなど、ご連絡いたします。ご協力をお願いいたします。

団体調査 主な質問

- ・ 団体名、代表者名、団体概要など
- ・ 団体の活動種別、活動内容など
- ・ 活動写真、活動イメージ写真など
- ・ ご意見、ご要望など

調査結果の公開

調査結果は、全国ユース環境ネットワーク事務局発行のユース情報誌に掲載し、全国約100大学の環境団体、全国の高校、環境省など関係機関への配布を予定しています。また、当ユースホームページなどにもアップする予定です。

全国大学生環境活動コンテスト（エココン）とは

大学生の環境活動の活性化を通じた持続可能な社会の実現を目指し、学生ネットワークの形成、座談会（交流会）の実施、年に1度の全国大学生環境活動コンテスト（通称：ecocon）を行っています。ecoconは2003年より毎年開催しており、第18回までにのべ700団体以上、総勢1万人以上が参加するなど、学生の環境活動の中での役割を確立しています。



独立行政法人環境再生保全機構は、全国大学生環境活動コンテスト（ecocon）を共催しています。

〈お問合せ〉

◆全国ユース環境ネットワーク事務局

tel: 044-520-9505 mail: youth@erca.go.jp

◆全国大学生環境活動コンテスト（エココン）実行委員会

tel: 03-5402-5355 mail: support@ecocon.info（株式会社ダイナックス都市環境研究所内）



第7回 全国ユース環境活動発表大会

Web大会 で開催します!

くわしくは
P2 ~ P4で

新型コロナウイルスの感染拡大の防止対策、そして高校生や先生方、すべての関係者の方々の健康と安全を最優先とし、第7回発表大会は『Web大会』で開催いたします。
高校生みなさんが取り組む環境活動やSDGs活動の『発表動画』を作成してください!
はじめての高校も参加経験のある高校も、日頃の活動内容を動画で全国に情報発信してください!

Web 地方大会

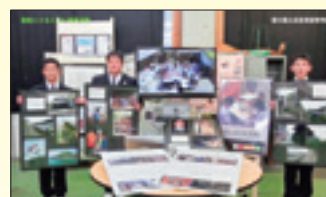
2021年11/29 (月) ~12/14 (火)

全国8地方の地方大会、
全国大会を開催!

Web 全国大会

2022年1/21 (金) ~1/31 (月)

「発表動画」で
活動を全国に伝えよう!



(イメージサンプル:発表動画の1コマ)

- 〈主催〉 全国ユース環境活動発表大会実行委員会
(環境省/独立行政法人環境再生保全機構/国連大学サステナビリティ高等研究所)
〈後援〉 読売新聞社
〈協力〉 地方環境パートナーシップオフィス (EPO)、地球環境パートナーシッププラザ (GEOC)、ESD 活動支援センター
〈協賛〉 キリンホールディングス株式会社、協栄産業株式会社、SG ホールディングス株式会社、株式会社タニタ

私たちは、ユースの
環境活動を応援しています。



事務局より



この環境マガジンは、「全国ユース環境ネットワーク事務局より、全国約 4,900 高校、約 100 の大学サークル、及び全国で環境活動を実施している方々にお送りしています。ユース世代の環境活動に関する情報やご意見等、事務局までぜひお知らせください。私たちはこれからも環境活動に取り組むユース世代のみなさんを応援してまいります! 発表大会へのご応募もお待ちしております!



全国ユース環境ネットワーク事務局

環境再生保全機構からのお知らせ

読み終わった本で環境保全活動に貢献しませんか?



「本de寄付」は本やDVDの買取金額が寄付金となり、NGO・NPOの環境保全活動に役立てられます。

①読み終わった本を 段ボール箱へ

〈送れるもの〉
書籍・コミック・CD・
DVD、ゲームソフトなど

②「本de寄付」に 申し込む

ホームページ・
TELからお申し込み下さい。



③送料無料で お引き取り

ご指定の日時に
配送業者が無料で
集荷に伺います。

④買取金額が 寄付される

ご寄付額を記載した
お礼状を送付します。

SNSでユース事業のほか、助成団体の活動、地球環境基金のイベント、講座、研修のご案内等を発信しています!

フォローをお願いします!

Instagram



twitter



お問い合わせ(平日10:00~17:00) ●申し込み先 ☎ 044-520-9606